

平成24年3月6日

チェンマイ大学看護学部及び香川大学医学部看護学科との 学術交流協定に関する実施細則調印式の実施について

本学医学部とチェンマイ大学看護学部とは2006年以来非常に活発な交流を続けています。両大学の看護学科生や医学科生がチェンマイ大学を訪問し研修をしたり、教員同士の研究交流も続いています。今回の実施細則の調印により、その絆がさらに太く強くなります。

また、香川大学医学部はタイをはじめとするASEAN諸国との交流を重視しており、これを契機とします。まず双方向性の交流が進むことが期待されます。

【日時】平成24年3月7日（水） 13:40ー

【場所】香川大学医学部管理棟5階中会議室

【出席者】

◆チェンマイ大学看護学部：

Thanaruk Suwanprapisa（タナラック・スワンプラピサ）看護学部長

Sujitra Tiansawad（スジットラ・ティアンサワッド）副看護学部長（学術担当）

Thitanut Akkadechanunt（ティティナット・アッカデチャナント）副看護学部長（国際交流担当）

◆香川大学医学部：

森 望 医学部長

名越民江 看護学科長（副学部長）

徳田雅明 教授・医学部国際交流委員長

内藤直子 教授・看護学科国際交流委員長 他

【式次第】

13:40 開会

13:40 参加者紹介

13:45 調印までの経緯紹介

13:50 調印内容紹介

13:55 調印式

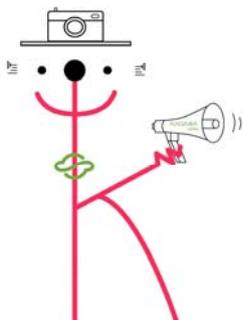
14:00 森医学部長挨拶

14:05 Thanaruk 看護学部長挨拶

14:10 記念品交換

14:15 記念撮影

14:20 終了



➤ 問い合わせ先

香川大学医学部総務課企画調査係 石川・山形

TEL：087-891-2011 FAX：087-891-2016

E-mail：chosa@med.kagawa-u.ac.jp

医学部国際交流委員会委員長 徳田教授

TEL：087-898-5111（内線：2422）

医学部との国際交流準協定校の紹介

チェンマイ大学医学部 (タイ)

(Chiang Mai University)

交流開始：2006年8月～ 主管学部：医学部



チェンマイ大学病院

大学内の学生施設

ドイ・ステープ寺院

国際交流の特色(大学紹介)

チェンマイ大学はチェンマイ旧市街の北西部に隣接した3,490エーカー（約14.12km²）の敷地に、3つのキャンパスがある。現在、17の学部と3つの研究所を持ち、2,165人の教員に対して、2万人以上の学部生と、約7,500人の大学院生が学んでいる。1964年に設立されたチェンマイ大学医学部は、北タイ地域の医療・福祉と医学研究の中心機関となっている。チェンマイ大学医学部は日本と同じ6年制であり、1学年は160-180名からなっており、約1000名の学生が医学を勉強している。

香川大学は、チェンマイ大学を東南アジアの教育・研究拠点と定め、今後複数の学部において、教育・研究面での国際交流事業を展開する方針を立て、医学部も2006年より交流を開始した。2010年8月には第3回目の合同シンポジウムをチェンマイ大学で開催した。またチェンマイ在留邦人に対する遠隔健康相談も開始した。

交流実績(平成20年度～22年度)

年度 受入・派遣	平成20 年度	平成21 年度	平成22 年度
学部生・大学院 生派遣・受入	1	3	4
教員派遣・受入	6	9	11



派遣医学生の修了証書授与



神経科での実習風景

教員からの声

チェンマイ市は古い歴史と伝統・文化を有するタイ第二の都市であり、タイ北部の中核都市であるとともに近隣諸国・地域とを結ぶゲートウェイでもあります。街の中は車やバイク、自転車が所狭しと行き交い、大変なエネルギーを感じます。国民のほとんどは仏教徒で、人々は大変礼儀正しく敬虔です。

医学のレベルも高く、先進的な医療を積極的に取り入れ、北タイの医療の中心となっているとともに、近隣諸国へも医療サポートを行っています。香川大学医学部とも今後、周辺地域・近隣諸国を含めた交流の拠点としてチェンマイ大学医学部と交流を進めていく予定です。

医学生は大変勤勉です。向上心が強く、目を輝かせて毎日長時間の講義を聴き実習しています。その姿勢はとても爽やかに感じます。親日的で、日本への憧れも強く、良いパートナーとなることができるでしょう。

学部学生の派遣および受入事業も始まりました。研究者交流も進んでいます。ますます交流が盛んになっていくことでしょう。

(医学部教授) 徳田雅明

学生からの声

留学で感じたことは、①自分のしたいことを先方に伝えれば、様々な体験をさせてもらえる。②現地の学生との交流、タイの文化を身近で体験できる。③英語でのコミュニケーション能力の向上が期待できる。④医学、語学共に研修前後に渡って学習意欲が亢進する。⑤タイは親日的で国民性はとても皆親切である。ということでした。

今回、このように大変貴重な経験をさせていただき大変有難うございました。大学単位で他国の大学と交流を進めている大学はめずらしく、香川大学で学んでいることを改めて幸せに感じています。

今回の留学を通じて、英語を通じて医学の知識を深めることがいかに世界を広げるかということに改めて感じることができました。また日本だけでなく世界の文化や常識と触れることで発想の幅が大きく膨らむことも感じました。

この経験を糧により幅広い視野を持つ医療人となるよう努力したいと思います。

(医学科4年) 大熊康央、林 千晴

チェンマイ大学

(Chiang Mai University)

ホームページ

<http://www.cmu.ac.th/cmueng/index.php>

●学部学生

1, 180人

●医学部教職員

450人

●大学院生(医学部)

180人

●留学生(全学)

430人

チェンマイ大学医学部 協定校との国際交流事業の概要

横井 英人、徳田 雅明

はじめに

2007年に香川大学は、チェンマイ大学を東南アジアの教育・研究拠点と定め、今後複数の学部において、教育・研究面での国際交流事業を展開する方針を立てた。香川大学医学部も2006年8月に香川大学医学部の代表団がチェンマイ大学を訪問しチェンマイ大学医学部との交流が始まった。

1964年に設立されたチェンマイ大学医学部は、北タイ地域の医療・福祉と医学研究の中心機関となっている。チェンマイ大学医学部は日本と同じ6年制であり、1学年は160-180名からなっており、約1200名の学生が医学を勉強している。

平成22年度のチェンマイ大学医学部との交流実績

- 1) 平成22年8月2日～20日に、医学部4年次生2名（大熊康央君、林 千晴さん）が、チェンマイ大学医学部附属病院 Northern Neuroscience Center において臨床実習を行った。
- 2) 第3回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウムが、平成22年8月24日から26日の3日間、チェンマイ大学にて行われ、医学部医学科から6名が参加した。
- 3) 平成22年11月20日に、徳田委員長がチェンマイロングステイライフの会（CLL）との間で健康相談を行った。またCLLの会議において同事業の説明を行った。また平成22年12月4日に、CLLとSkypeを用いた遠隔健康相談を開始した。
- 4) 平成23年1月24日～2月10日に、チェンマイ大学医学部5年次生2名（Miss Kwanchanok Riyapan と Mr. Itthiphath Thamaneewan）が臨床研修に香川大学医学部を訪問した。
- 5) 平成23年2月1日～3月19日にわたり、チェンマイ大学医学部生理学講師の Ms. Juntima Pleumsamran が、また、2月12日～3月10日にわたり、同じく生理学講師の Ms. Sumittra Gomonchareonsiri が共同研究に訪れた。

今後の交流の課題

医学部および附属病院全体での交流事業として進めていく。

- 1) 実施細則（MoU）の締結を行う。
- 2) 学生派遣を定着する。
- 3) 共同研究についてより発展させる。
- 4) 遠隔健康相談を定着させる。
- 5) 診療面で医師や看護師の交流を進める。

医学部との国際交流準協定校の紹介

チェンマイ大学看護学部 (タイ王国)

(Chiang Mai University)

交流開始：2006年8月～



看護学部の学舎



大学内の学生施設



ドイ・ステープ寺院

国際交流の特色(大学紹介)

平成22年8月24～26日にチェンマイ大学で開催された第3回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウムに本学看護学科教員4名が、研究発表を行った。その際に、チェンマイ大学看護学部を訪問し、今後の両校の交流に関して意見を交換した。チェンマイ大学看護学部の学部長、Dr.Suwanprapisa、同学部国際交流担当のDr.Akkadechanunt,など4人の教員と、香川大学医学部看護学科から3学生が2週間短期留学を体験したので、今後、両大学看護学部間で協定書を交わし、一層の交流を推進する。

チェンマイ大学は、1964年に開学し、現在20000人の学生が在籍している国立大学である。看護学部も、2000人の学生がおり、修士課程と博士課程を有し、世界から学生留学を受け入れている。日本からは、5大学がすでに交流をしている。学生も教員の日本からの留学生を期待しておられるので、今後の交流を深めていく予定である。

交流実績(平成20年度～22年度)

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受入・派遣			
学生派遣・受入	0	0	3
大学院生派遣・受入	0	0	0
教員派遣・受入	2	0	4



教員からの声

タイ・チェンマイは、熱心な信仰の都市です。看護学科は今年初めて学生3名が、2週間の国際交流活動で訪問しました。8月の大学構内は、緑が多く広々として美しく、看護教員の皆様は、研究意欲が高く、訪問した私達教員4人に、共同研究をどんどん希望されていました。

来年度も、学生の交流が発展するよう、教員達の共同研究や双方向の大学訪問の実現に向けて、看護学科みんなの協力を得ながら、異文化や世界の看護の見聞を広めて学生の看護力を培いたいと思います。

(医学部看護学科教授) 内藤直子

学生からの声

チェンマイ大学への留学は私達にとり、実り多いものでした。自分の語学力を磨く事が出来たり、異国での看護の歴史や特徴を知ること、日本の看護の比較対象ができました。私が病棟実習したことの振り返る良い機会にもなり、今後の学習動機づけにもなりました。

今回の留学は3人で協力して乗り越えられ、先生方にもお世話になりありがとうございました。

医学部看護学科 2年 赤木祐香
3年 滝 あい
4年 佐伯昌俊



チェンマイ大学

(Chiang Mai University)

ホームページ <http://www.cmu.ac.th/cmueg/index.php>

●学部学生 1, 180人

●大学院生(医学部) 180人

●医学部教職員 450人

●留学生(全学) 430人

チェンマイ大学看護学部 協定校との国際交流事業の概要

内藤 直子、谷本 公重

はじめに

2005年に香川大学は、チェンマイ大学を東南アジアの教育・研究拠点と定め、今後複数の学部において、教育・研究面での国際交流事業を展開する方針を立てた。香川大学医学部も2006年8月に代表団がチェンマイ大学を訪問しチェンマイ大学医学部との交流が始まった。さらに、2010年8月に香川大学医学部看護学科教員4名がチェンマイ大学看護学部を訪問し、チェンマイ大学看護学部との交流への話し合いが始まった。

チェンマイ大学は、タイ国内で最初にできた地方の国立大学で、北タイ地域の医療・福祉と医学研究の中心機関となっている。1972年から医学部の中で看護の教育が始まった。現在はチェンマイ大学看護学部として、修士、博士課程はもちろんのこと、留学生対応のプログラムがあり、それらがウェブを利用した遠隔授業でも設定されている。タイでは、看護基礎教育が全て4年制大学で行われており、看護師免許も5年ごとの更新が必要である。

平成22年度のチェンマイ大学看護学部との交流実績

平成22年8月6日～22日に、看護学科4年次生（佐伯昌俊君）、同3年次生（滝あいさん）、同2年次生（赤木祐香さん）が、チェンマイ大学看護学部および医学部附属病院、関連施設で臨床実習および研修を受けた。

- 1) 第3回香川大学・チェンマイ大学合同シンポジウムが、平成22年8月24日から26日の3日間、チェンマイ大学にて行われ、医学部看護学科から4名が参加した。
- 2) 上記シンポジウムの中の8月24日（火）に看護学科3名が、チェンマイ大学看護学部の学部長、Dr. Suwanprapisa、同学部国際交流担当の Dr. Akkadechanunt、精神看護学担当 Dr. Tungpunkom、母性看護学担当 Dr. Yimyan、小児看護学担当 Dr. Mesukko と面会し、お互いの研究内容について意見を交換した。
- 3) 8月25日（水）に看護学科4名がチェンマイ大学看護学部を再訪。同学部国際交流担当の Dr. Akkadechanunt と今後の具体的な交流の可能性について検討した。終了後、チェンマイ大学看護学部内および附属病院である精神科病院(Suan Prung Psychiatric Hospital)を視察した。

今後の交流の課題

- 1) メモランダム締結を行う。
- 2) 学生および教員交流を定着する。
- 3) 共同研究の可能性について検討する。